

### 2001年第40週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信 / 保健所通信
- 医療機関の皆様へ
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 病原体検出報告(突発性発疹)

### 2001年9月報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 疾病別グラフ
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 医療圏別累計表

### 感染症豆知識

- 無菌性髄膜炎

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp / IDSC /



**(全数情報)**

- 細菌性赤痢が7件報告された。5件からソネネ菌 (推定感染地 :タイ、シリア、ベトナム2件、北朝鮮)が、2件からフレキシネル菌 (推定感染地 :国内、タイ)が検出されている。
  - ・パラチフスが1件報告された。推定感染地はインドである。
  - 腸管出血性大腸菌感染症が3件報告された。O157が3件 (VT2)である。推定感染地は国内2件、不明1件である。
  - ・アメーバ赤痢が2件報告された。いずれも男性で国内での感染が推定されるが感染経路は不明である。
  - 急性ウイルス性肝炎が5件報告された。A型が4件 (推定感染地 :フィリピン2、マダガスカル、国内)、EBウイルスによるものが1件 (感染地不明)であった。
  - ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。75歳女性で、孤発性CJDである。
  - ・HIV感染症が6件報告された。無症候性キャリアが2件、AIDSが3件、その他 (ARC :AIDS関連症候群)が1件である。推定感染経路は、異性間性的接触が2件、同性間性的接触3件、不明が1件である。
  - ・ジアルジア症が1件報告された。推定感染地はインドである。
  - ・デング熱が2件報告された。推定感染地はカンボジア・インドネシアとタイである。
  - 梅毒が2件報告された。いずれも早期顕症梅毒である。
  - ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症が2件報告された。遺伝子型は *VanA*と *VanC2*である。いずれも国内での感染が推定されているが、感染経路は不明である。
  - ・マラリアが1件報告された。熱帯熱マラリアで推定感染地はギニア・コートジボアール・ガーナである。
  - ・レジオネラ症が1件報告された。感染源等は調査中である。
- (推定される感染地は医師の届出によるものです)

**(定点情報)**

今週は特別な動きはない。

**(病原体情報)**

- ・定点病院から菌株で搬入されたMRSA4株は、すべてコアグラゼ 型であった。
- ・上気道炎および扁桃腺炎の患者2名の咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・結膜熱および咽頭結膜熱の患者2名の咽頭拭い液からアデノウイルスが検出された。
- ・髄膜炎および無菌性髄膜炎の患者2名の髄液からエンテロウイルスが検出された。

**(その他の情報)**

今週のウイルス関連検体搬入状況は上・下気道炎と脳・神経疾患が約1/4ずつで、その他結膜炎、発疹性疾患、肺炎、胃腸炎などによるものであった。

今週はありません。

## 医療機関の皆様へ

一類感染症、二類感染症、三類感染症及び全数把握の四類感染症に該当する患者を診断された場合は、下記のとおり届出をお願いします。

分類	疾 病 名	医師から保健所への届出
一類	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱 ペスト マ・ルブルグ病 ラッサ熱	診断後、直ちに届出
二類	急性灰白髄炎 コレラ 細菌性赤痢 ジフテリア 腸チフス パラチフス	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	
四類 (全数把握)	アメ - バ赤痢 急性ウイルス性肝炎 エキノコックス症 黄熱 オウム病 回帰熱 Q熱 狂犬病 クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 後天性免疫不全症候群 コクシジオイデス症 ジアルジア症 腎症候性出血熱 髄膜炎菌性髄膜炎 先天性風疹症候群 炭疽 ツツガムシ病 デング熱 日本紅斑熱 日本脳炎 乳児ボツリヌス症 梅毒 破傷風 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 ハンタウイルス肺症候群 Bウイルス病 ブルセラ症 発疹チフス マラリア ライム病 レジオネラ症	診断後、7日以内に届出

その他の感染症についても、異常な発生を認めた場合は、直ちに保健所へ御報告ください。

# 全数届出患者数一覧表 2001年40週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		37週	38週	39週	40週	40週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ・ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ		1	1		
	細菌性赤痢	2	2	3	7	23
	腸チフス					
	パラチフス				1	1
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	11	9		3	101
四類 (全数届出)	アメ - バ赤痢	2	5		2	5
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	10	4	2	5	10
	Q熱			7		
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症	1	1			
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					
	後天性免疫不全症候群	7	7	8	6	9
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	1	2	1	1	1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病					2
	デング熱	1	1	1	2	
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ボツリヌス症					
	梅毒	2	5	1	2	8
	破傷風		1			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	1	2	1
ハンタウイルス肺症候群						
Bウイルス病						
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア	1	1	5	1	2	
ライム病						
レジオネラ症	1	1	1	1	1	

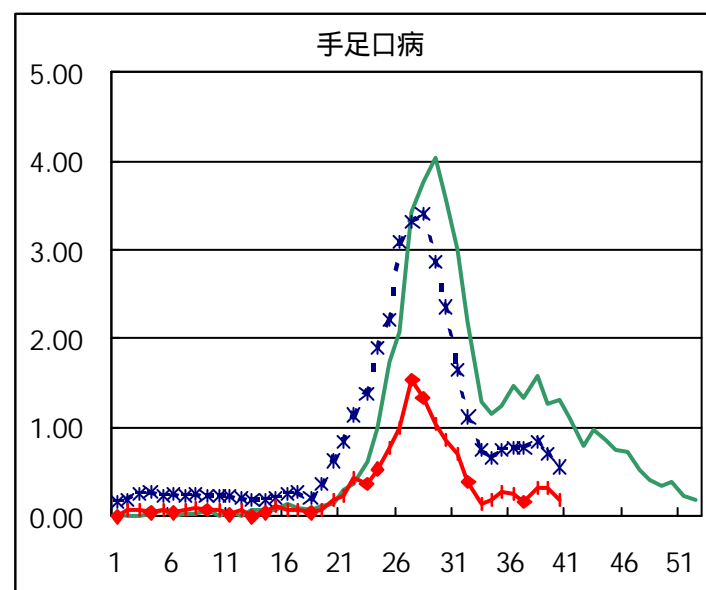
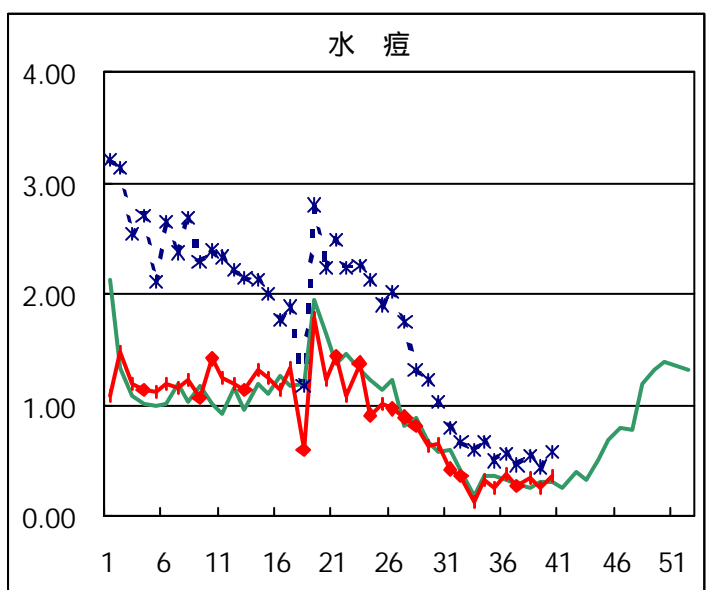
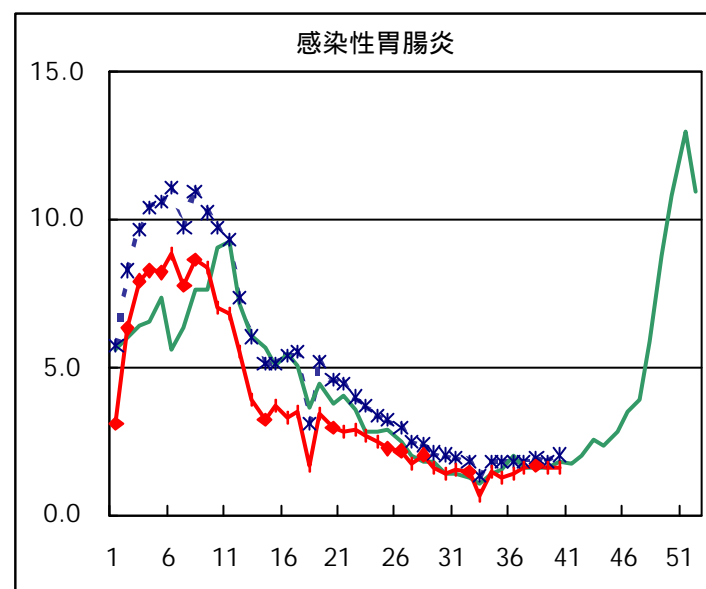
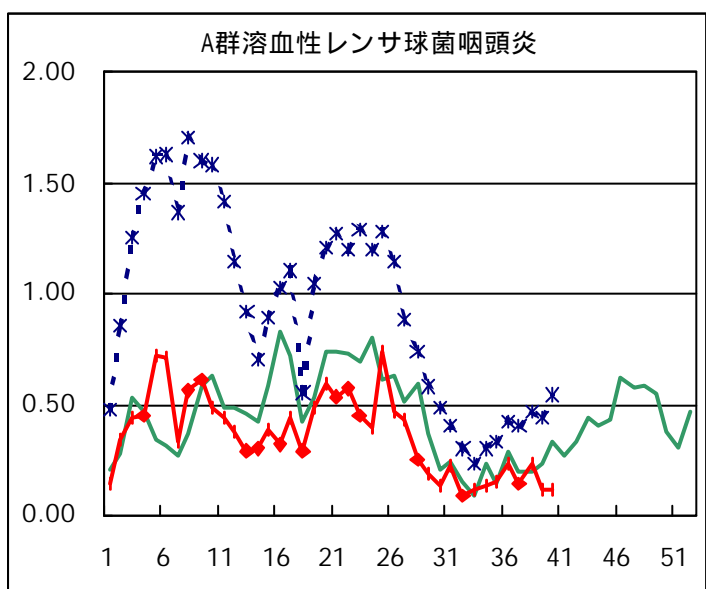
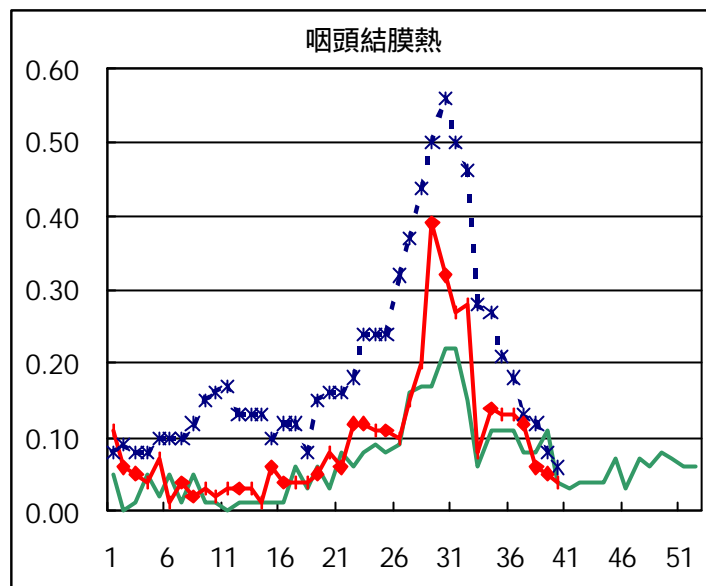
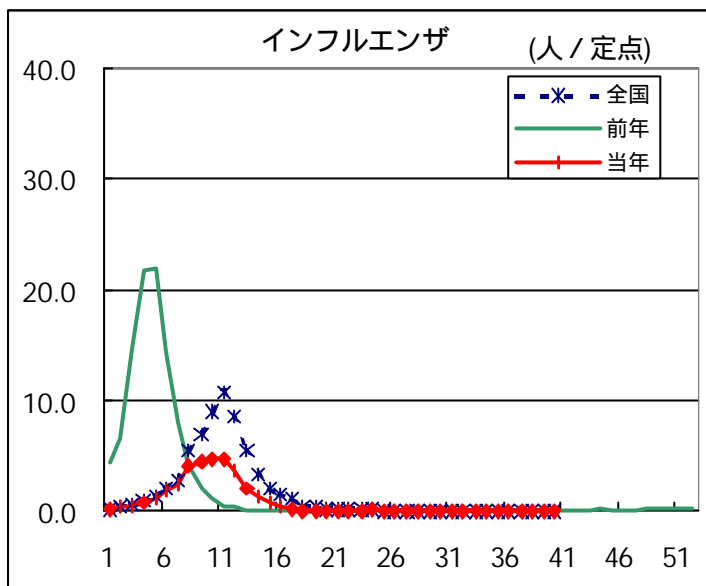
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/10/10集計)

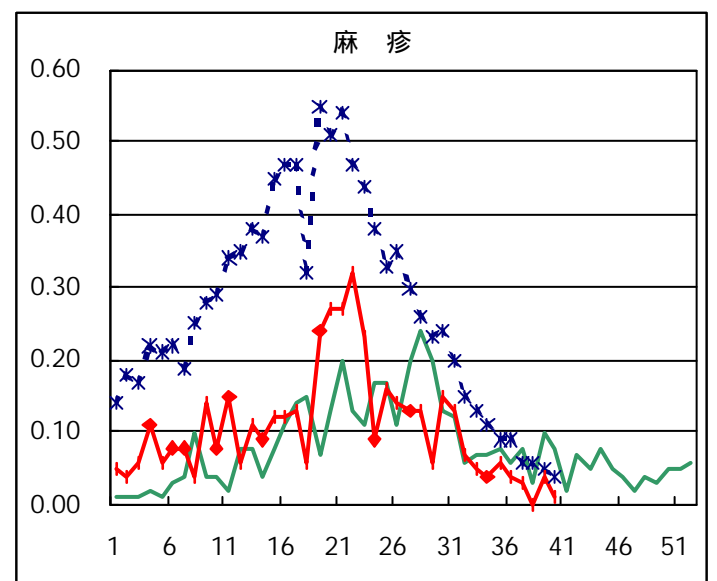
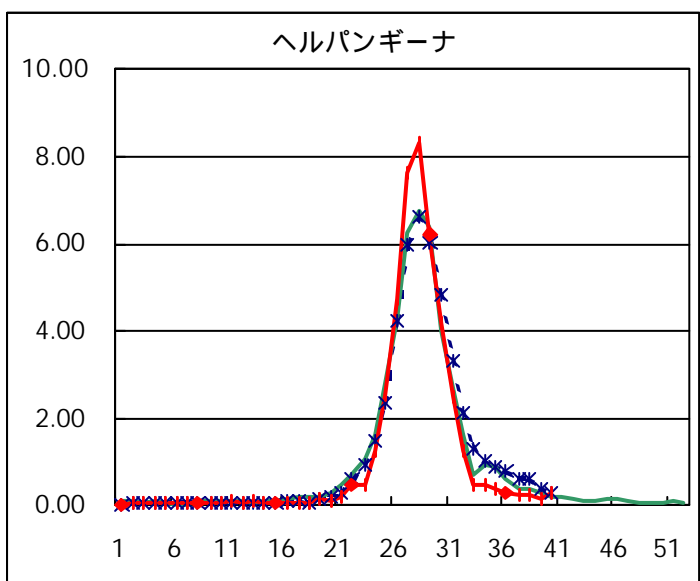
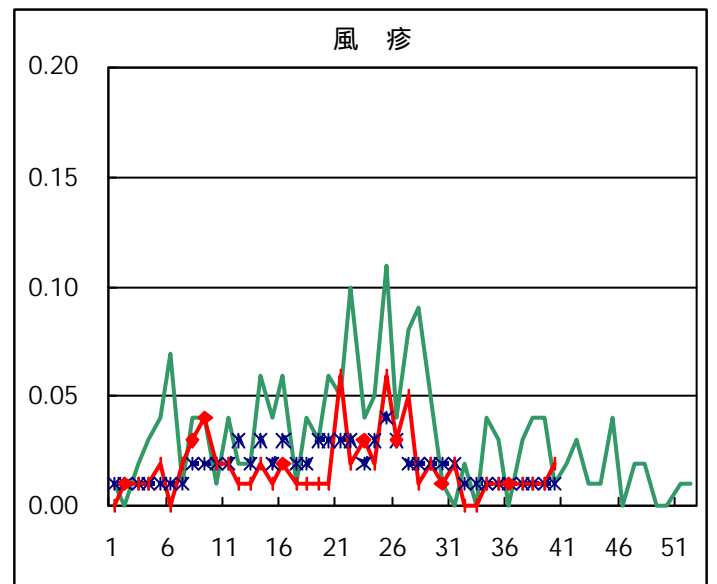
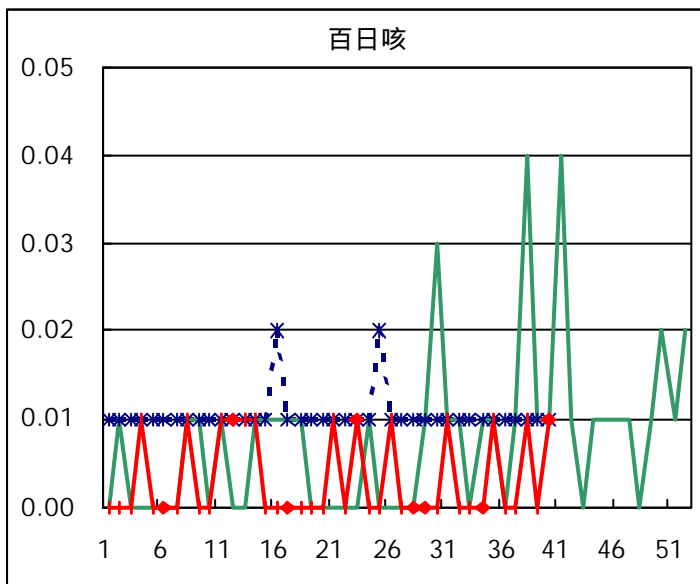
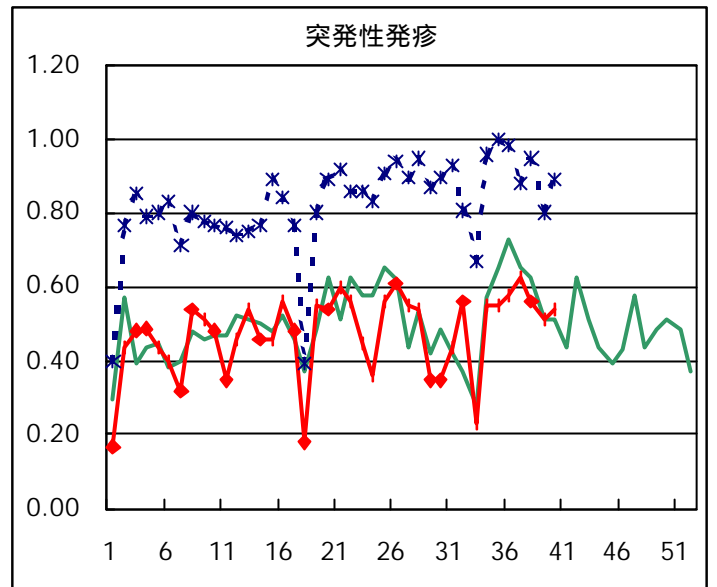
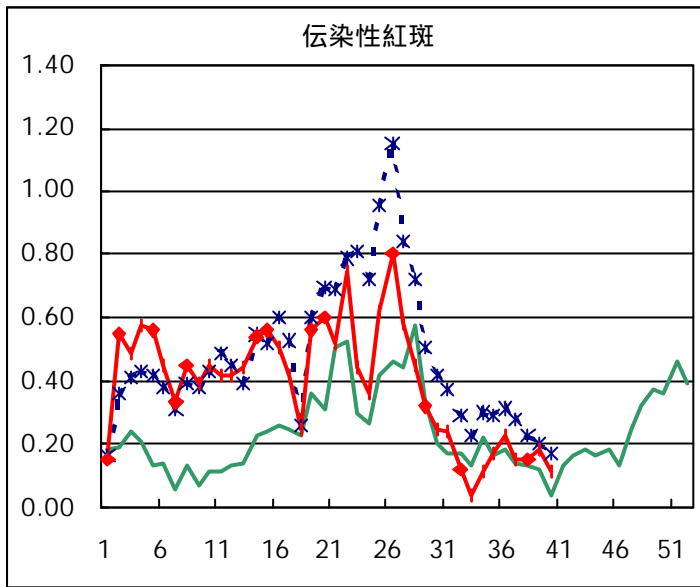
## 定点報告疾病集計表（男女別）

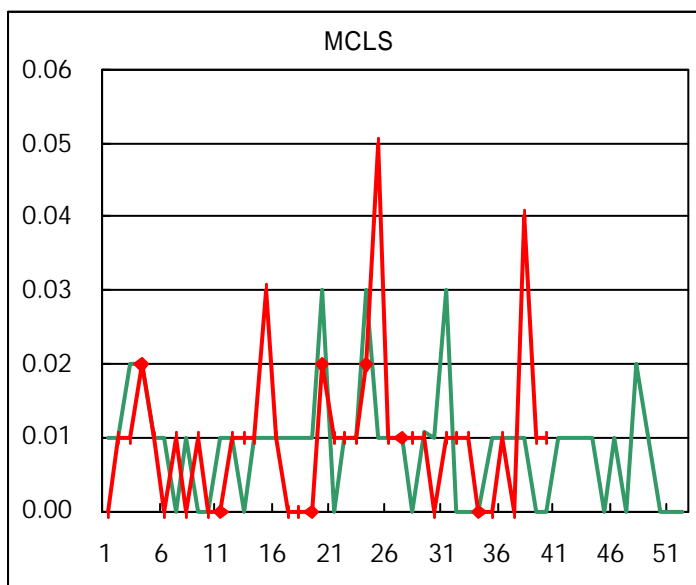
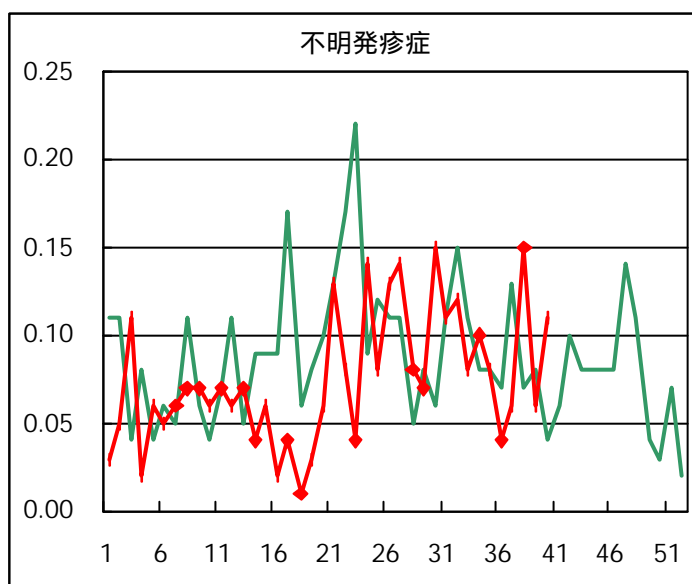
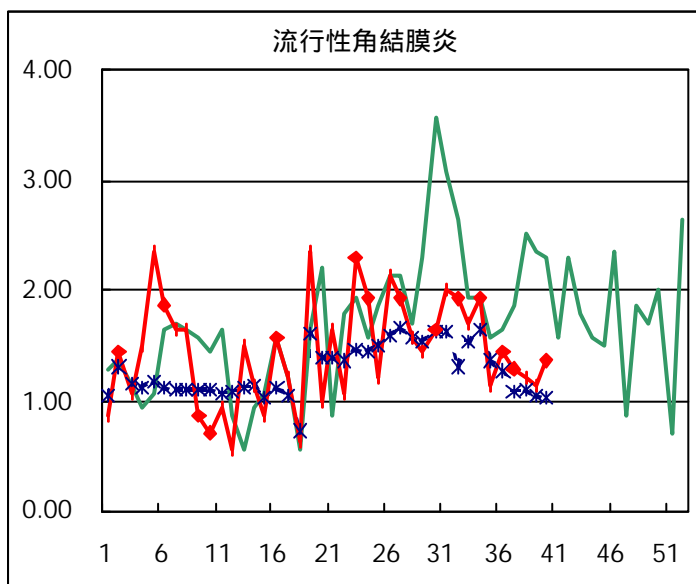
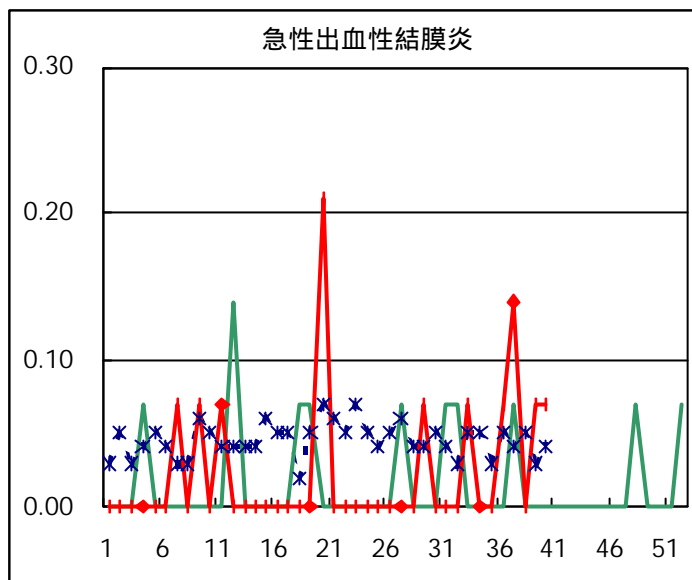
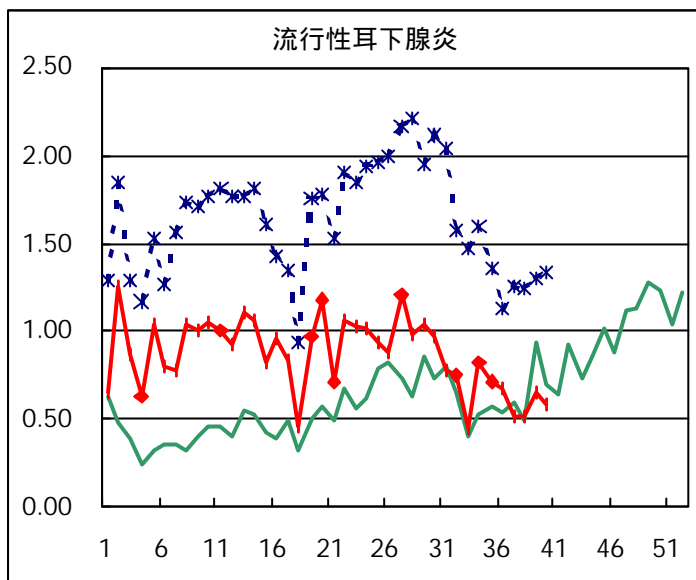
疾病名	性	2001年 週				累計
		37	38	39	40	
インフルエンザ	男			2	1	3
	女			1		1
咽頭結膜熱	男	6	3	5	3	17
	女	11	5	2	2	20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	6	16	12	10	44
	女	14	17	4	6	41
感染性胃腸炎	男	114	130	119	119	482
	女	118	107	107	107	439
水痘	男	21	25	22	26	94
	女	19	24	17	27	87
手足口病	男	17	24	28	16	85
	女	6	22	17	10	55
伝染性紅斑	男	9	13	13	8	43
	女	12	9	13	7	41
突発性発疹	男	43	38	38	46	165
	女	46	42	35	31	154
百日咳	男					
	女		1		1	2
風疹	男	1		1		2
	女		2	1	3	6
ヘルパンギーナ	男	17	21	13	25	76
	女	17	14	9	16	56
麻疹(成人以外)	男	1		4		5
	女	3		2	1	6
流行性耳下腺炎	男	41	43	44	44	172
	女	32	29	48	38	147
不明発疹症	男	5	10	5	8	28
	女	4	12	4	7	27
MCL S	男		2	1	1	4
	女		3	1		4
急性出血性結膜炎	男	2		1	1	4
	女					
流行性角結膜炎	男	11	10	8	12	41
	女	7	7	9	7	30
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男					
	女					
マイコプラズマ肺炎	男		1	2		3
	女			1		1
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	3				3
	女		1	2		3

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

# 疾病別グラフ

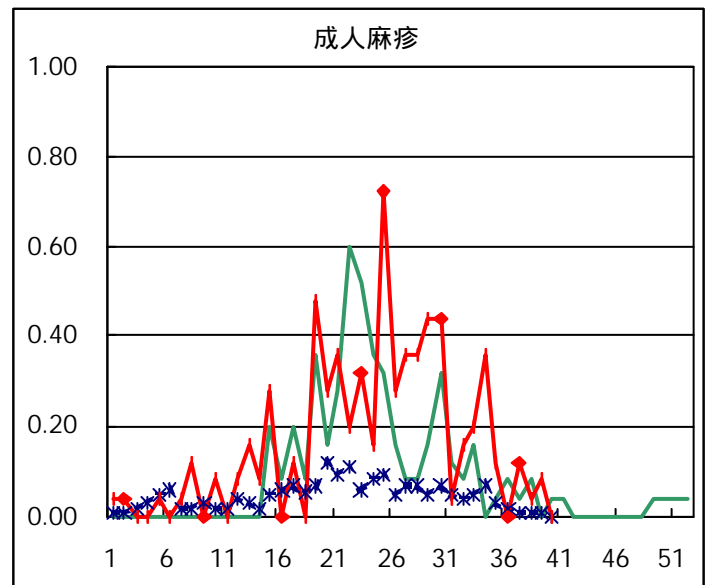
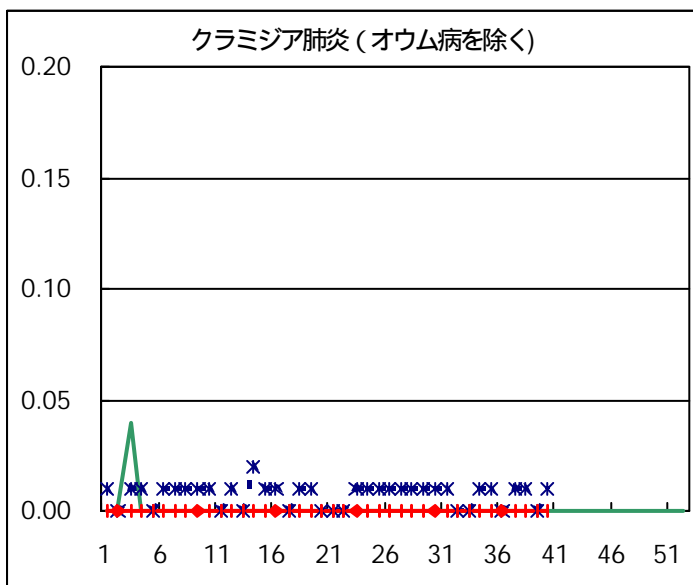
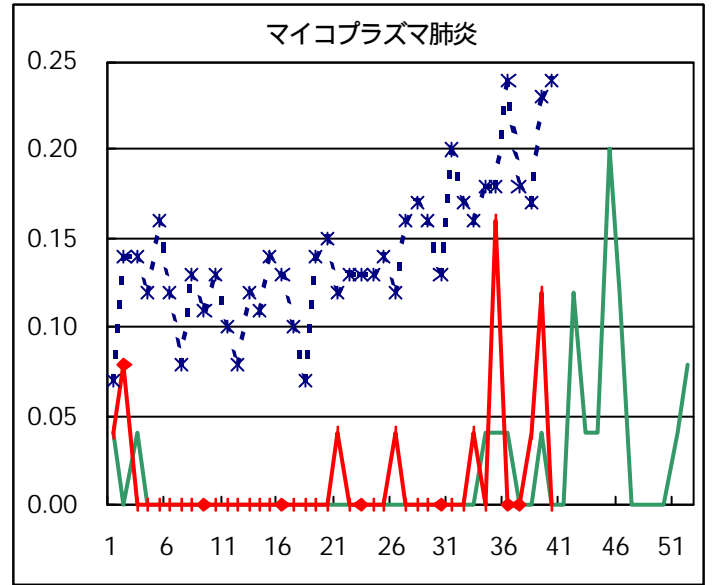
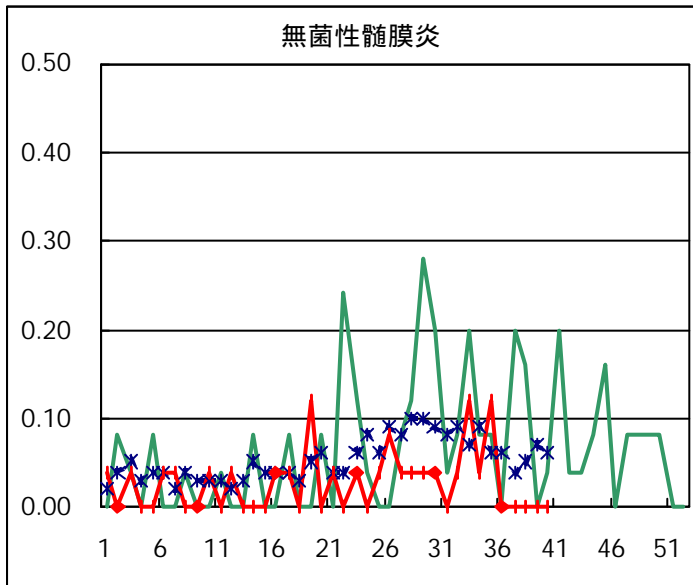
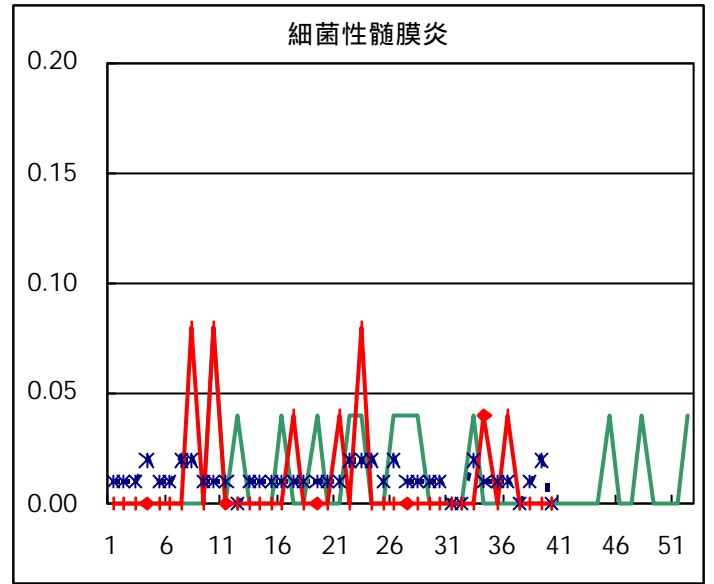
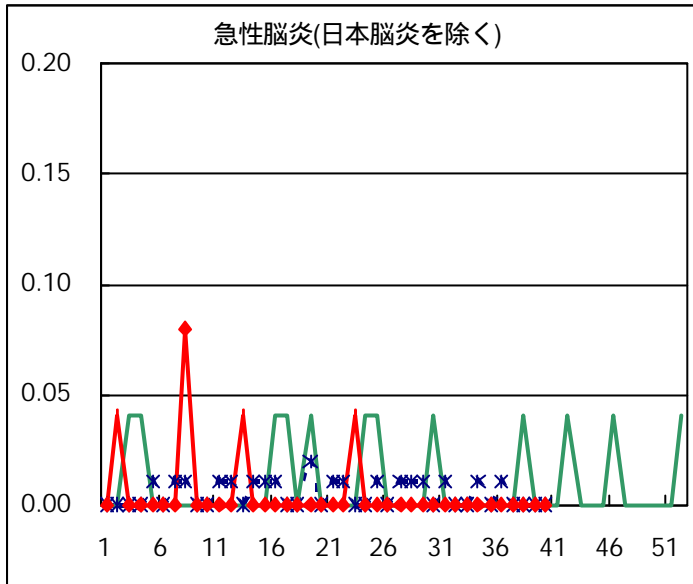






疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	





年齢階級別累計表(2001年40週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
~6ヶ月		1		5	2		1	6	1								2
~1歳				14	2		1	40			2						1
1歳		1		17	9	3	1	29			9		1				5
2歳		1		24	7	6		2			7	1	3		1		3
3歳				23	13	5					9		15				
4歳	1		4	15	8	5	1			1	2		20				
5歳			3	20	4	1	2				3		16				2
6歳		1	2	13	4	3	2				3		5		1		1
7歳			2	15	2	1	3				2		10				
8歳			1	8	1	1	1			1			2		1		
9歳			1	5			2				1				1		
10~14歳			1	25			1			1			6		1		
15~19歳				9	1								1		1		1
20~29歳		1	2	33		1					3		3		2		1
30~39歳														1	6		
40~49歳															1		
50~59歳															1		
60~69歳															1		
70~79歳															2		
80歳以上																	
合計	1	5	16	226	53	26	15	77	1	3	41	1	82	1	19	15	1
先週比	-2	-2	0	0	14	-19	-11	4	1	1	19	-5	-10	0	2	6	-1

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20~29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70~79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年40週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央		1						2								1		4
世田谷				14	13	3	1	7			1		5					44
渋谷区			1	14	2			2					1					20
池袋						1					2				4			7
長崎				1	1							1	1					4
荒川					1			1					2		2			6
足立			1	8	1			2	1		2		1					16
葛飾			2	8	2	1	4	5			5		4			4		35
江戸川			3	14	3	1		2			4		11			1		39
台東		3	1	8		3		2			6		1					24
目黒区					1			1					2			1		5
大田区			1	18	2			6			2		1		6	1		37
杉並			1	3	1			2										7
北区			1	3		7	1	6					3					21
板橋区				6	1	1	2	1		1	2		1					15
みなと					2			1							1			4
中野区				17		1		1		1	3		5					28
新宿区				17	1	2		3						1	4	1		29
品川区				9	5	1		2					1			2		20
千代田																		
練馬区	1			3	2	1	1	3		1			3					15
文京				9	2			1					1		1			14
墨田区								1					2					3
江東区			1	12	2	1		3			1		3			1		24

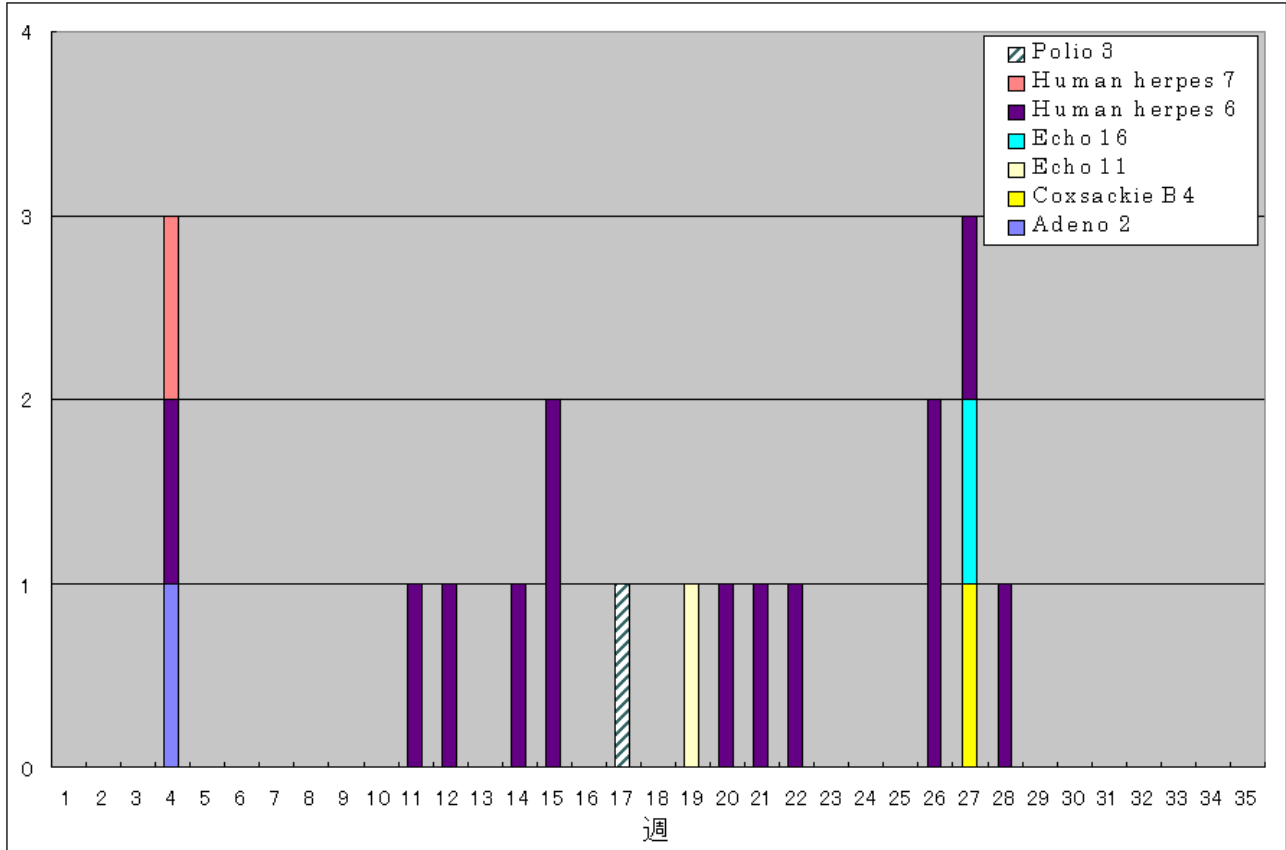
保健所別累計表 (2001年40週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子											1		1					2
町田				14	2			4			3		3			1		27
島しょ								2			3							5
多摩川		1	1	3	2	1	2	3					3					16
秋川			1	7	5			2					3			2		20
南多摩				9	1		1	3			6		8					28
多摩立川				7									2					9
村山大和			1	4		1		4					1					11
府中小金井								1					1					2
狛江調布			1	4		1							5					11
三鷹武蔵野				2			1	1							1		1	6
多摩小平				10	1			2					1					14
多摩東村山				2			2	1					6					11

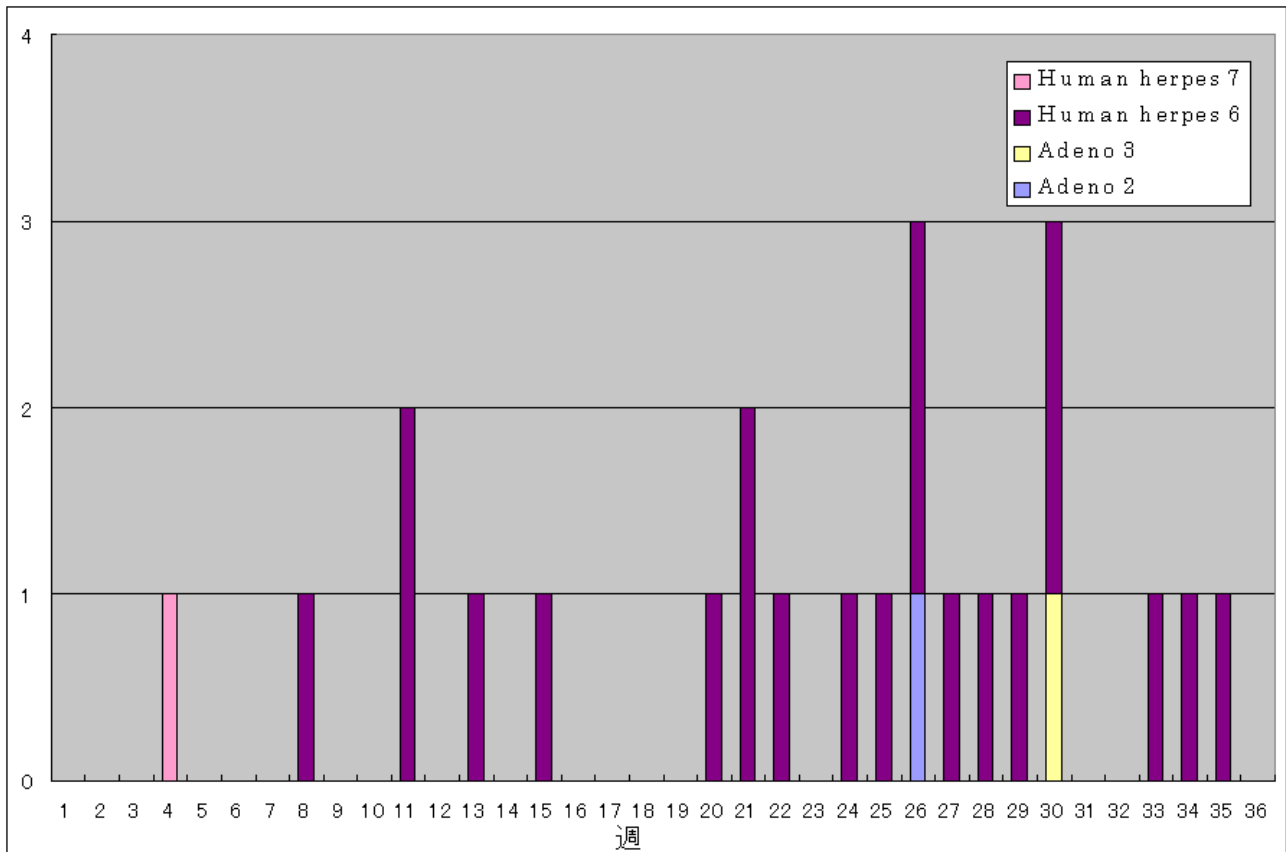
東京都合計	1	5	16	226	53	26	15	77	1	3	41	1	82	1	19	15	1	583
定点当り報告数	0.01	0.04	0.11	1.59	0.37	0.18	0.11	0.54	0.01	0.02	0.29	0.01	0.58	0.07	1.36	0.11	0.01	

# 病原体検出報告（突発性発疹）

突発性発疹患者から検出されたウイルス（全国報告数）



突発性発疹患者から検出されたウイルス（東京都）



搬入検体数：29件(ウイルス研究科)

## 発生動向総覧（月報告分） 2001年9月分

### （性感染症）

淋病様疾患の患者報告数が再び増加し、5ヶ月続けて前年同期を上回っている。尖形コンジロームと梅毒様疾患の報告数も前月に比べ増加したが、前年同期を下回っており、特に梅毒様疾患は1/2以下である。性器ヘルペスはほとんど変化が無く、性器クラミジアとトリコモナスの報告数はやや減少した。

### （基幹定点疾病）

前月に比べ、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症とペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告数は減少した。薬剤耐性緑膿菌感染症が3ヶ月続けて増加している。

### （病原体情報）

今月、性感染症定点からは血清8検体、子宮頸管スワブ16検体が搬入された。血清の検査結果は、梅毒抗体が全て陰性、クラミジア・トラコマチス抗体はIgG抗体陽性が3件であった。子宮頸管スワブのクラミジア・トラコマチス核酸検査では1件が陽性であったが、本例の血清は搬入されていない。また、淋菌核酸検査は全例が陰性であった。

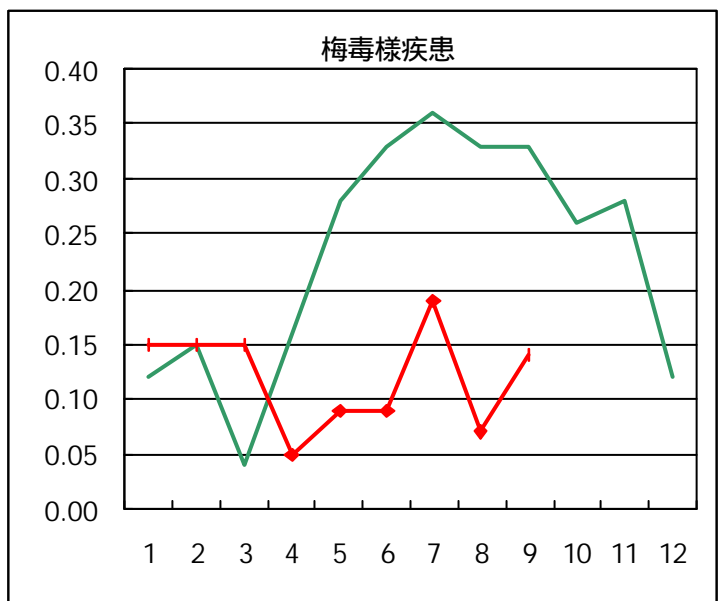
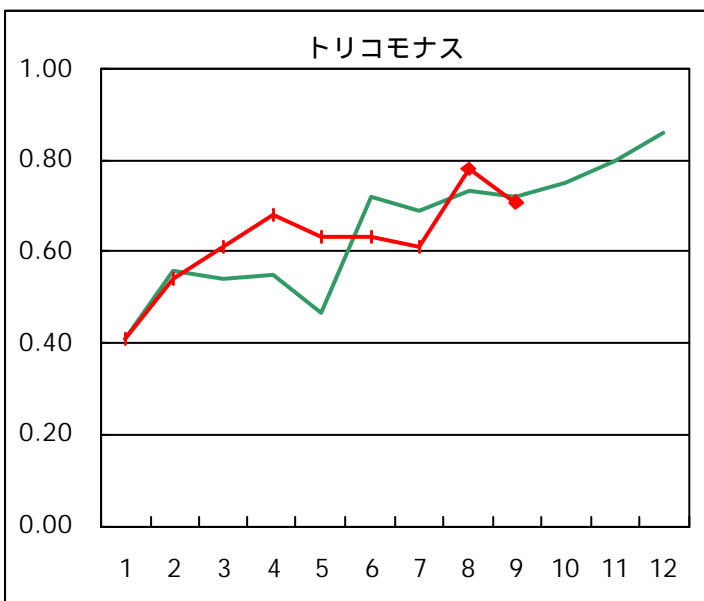
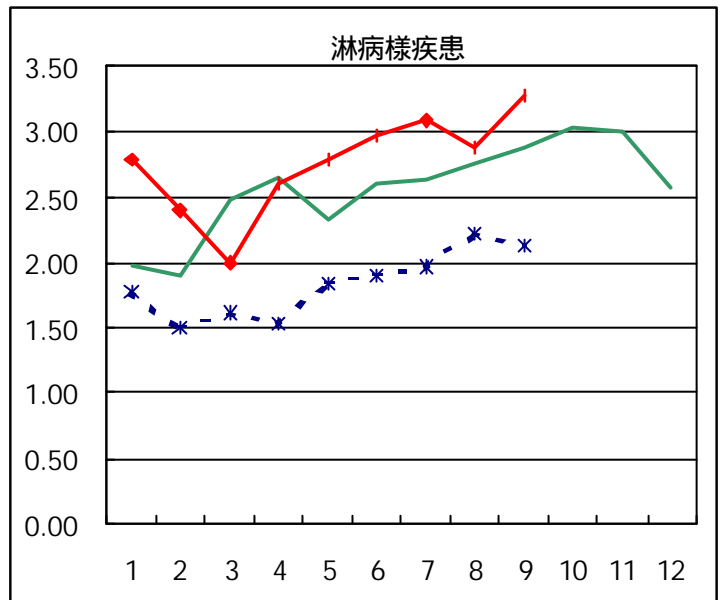
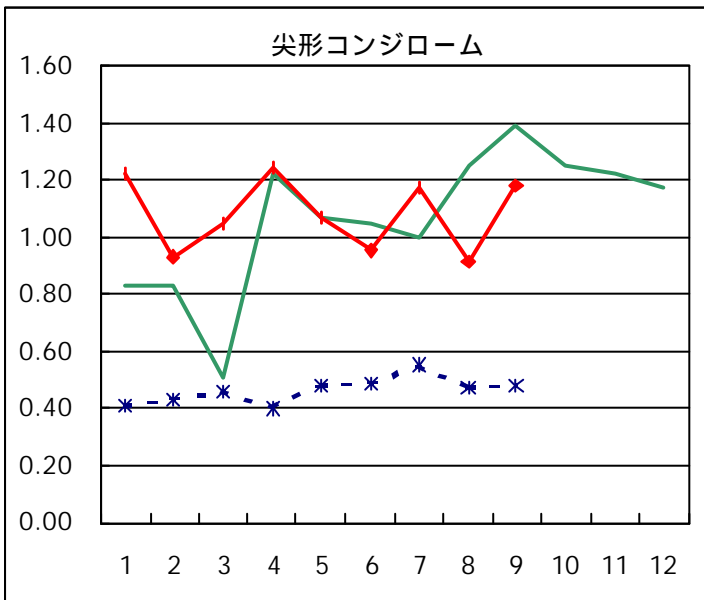
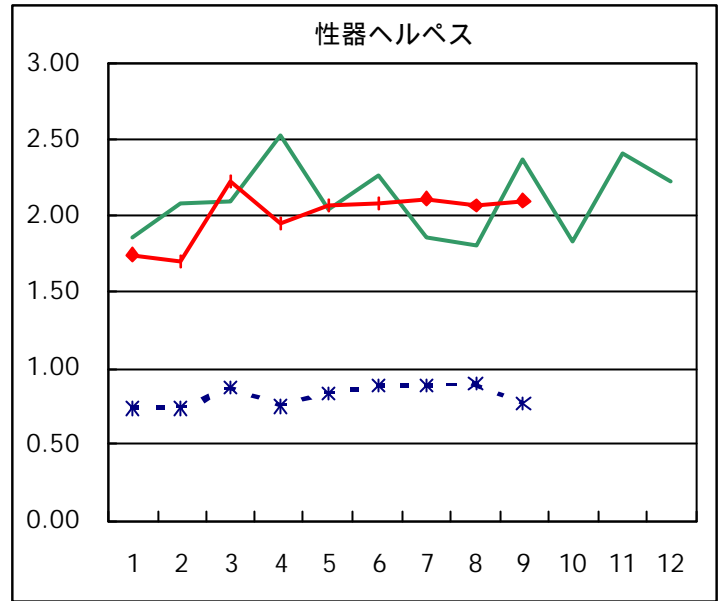
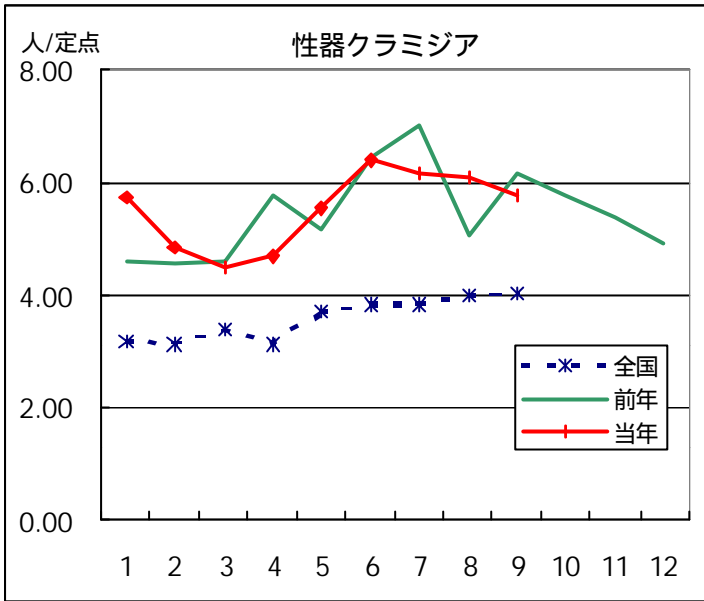
定点病院から菌株で搬入されたMRSA26株は、コアグラエゼ型3株、型22株、型1株であった。

## 調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

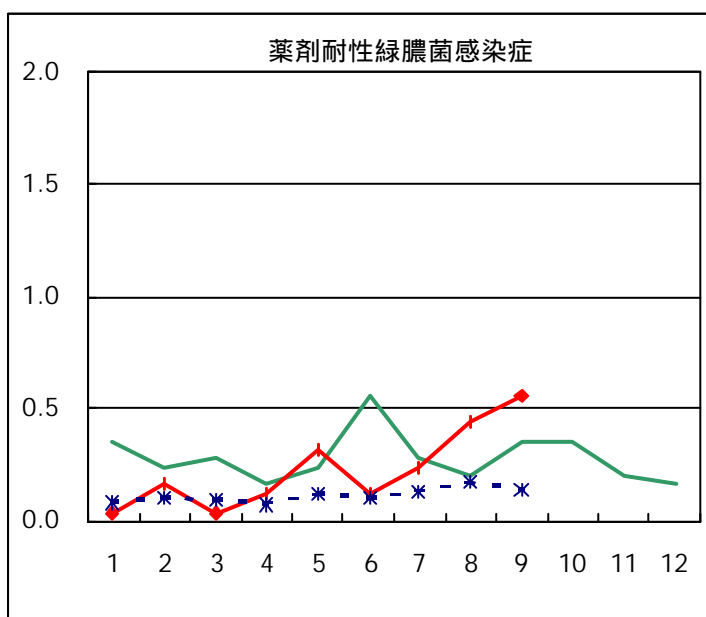
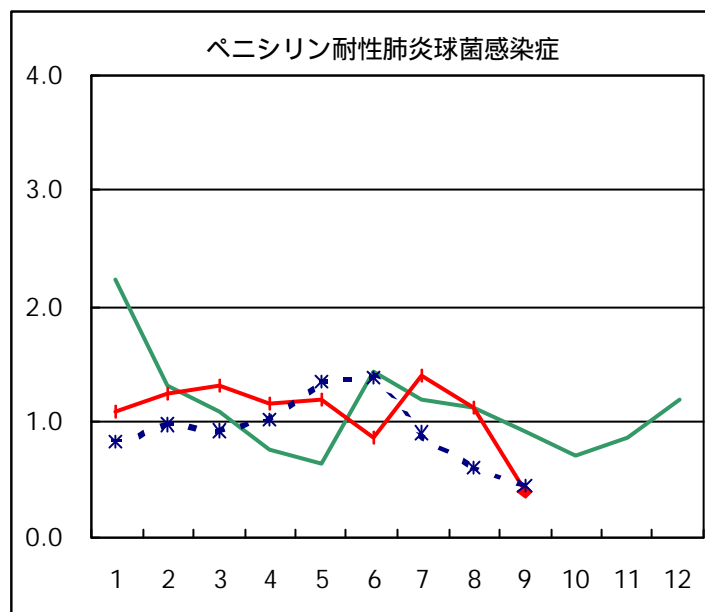
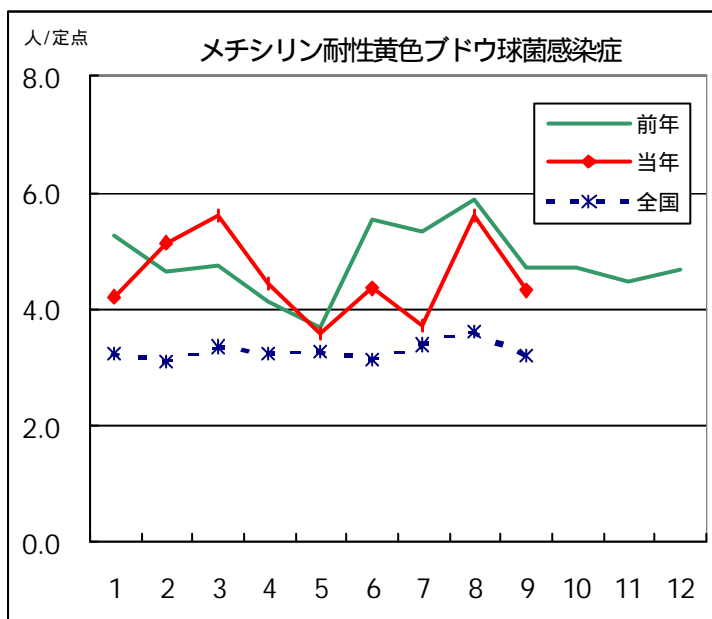
今月は、定点医療機関からのコメントはありません。

# 疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129	140	111	89	109	93	140	108				1024
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31	33	29	30	22	35	28	10				245
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4	1	3	8	3	6	11	14				51



疾病別の定点医療機関数	
疾 病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	



### S T I 年齢階級別累計表（9月）

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			7		1	3
20～24歳			21	6	6	18
25～29歳		1	32	6	4	26
30～34歳			20	5	5	23
35～39歳		2	16	3	3	14
40～44歳			10	5	2	5
45～49歳			5		1	7
50～54歳			11	5	2	2
55～59歳			2	2		4
60～64歳				1		1
65～69歳				1		
70～歳						
合計	0	3	124	34	24	103
先月数	0	2	119	43	26	91
増減数	0	1	5	-9	-2	12

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			19	2	2	4
20～24歳	7	1	41	10	12	8
25～29歳	3	1	20	11	5	11
30～34歳	7		13	13	3	3
35～39歳	3		11	9		2
40～44歳	3		5	2		1
45～49歳			2	3	1	1
50～54歳	4	1	1	2		
55～59歳	1				1	
60～64歳						1
65～69歳	1					
70～歳						
合計	29	3	112	52	24	31
先月数	32	1	131	42	12	27
増減数	-3	2	-19	10	12	4

## S T I 保健所別累計表（9月）

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジロー ム	淋病様疾患	総計
中央	2			4	3		3	10
渋谷区	3			5	1	1		7
池袋	3		1	26	4	9	10	50
荒川	1							
足立	1			12		2	6	20
台東	5							
大田区	3				1			1
北区	1				1		2	3
板橋区	2			3			1	4
みなと	2		2	12	6	1	7	28
中野区	1							
新宿区	5			23	4	1	16	44
品川区	1						1	1
文京	1							
墨田区	1			3		3	3	9
江東区	2			26	11	3	29	69
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			3		1	19	23
三鷹武蔵野	1			7	3	3	6	19
総計	41		3	124	34	24	103	288
定点当り		0.00	0.07	3.02	0.83	0.59	2.51	7.02

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジロー ム	淋病様疾患	総計
中央	2	1		1				2
渋谷区	3							
池袋	3	1	2	11	2	2	6	24
荒川	1			1		1		2
足立	1			1				1
台東	5	13	1	33	28	3	5	83
大田区	3							
北区	1							
板橋区	2							
みなと	2	2		5	4	1	1	13
中野区	1							
新宿区	5	4		28	8	12	8	60
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1			1				1
江東区	2			6			1	7
八王子	3	7		13	2	1	1	24
町田	1				2			2
多摩立川	2	1		7	2	1	7	18
三鷹武蔵野	1			5	4	3	2	14
総計	41	29	3	112	52	24	31	251
定点当り		0.71	0.07	2.73	1.27	0.59	0.76	6.12

S T I 保健所別定点当り累計表 ( 9 月 )

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖 ル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2			2.00	1.50		1.50
渋谷区	3			1.67	0.33	0.33	
池袋	3		0.33	8.67	1.33	3.00	3.33
荒川	1						
足立	1			12.00		2.00	6.00
台東	5						
大田区	3				0.33		
北区	1				1.00		2.00
板橋区	2			1.50			0.50
みなと	2		1.00	6.00	3.00	0.50	3.50
中野区	1						
新宿区	5			4.60	0.80	0.20	3.20
品川区	1						1.00
文京	1						
墨田区	1			3.00		3.00	3.00
江東区	2			13.00	5.50	1.50	14.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			1.50		0.50	9.50
三鷹武蔵野	1			7.00	3.00	3.00	6.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖 ル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	2	0.50		0.50			
渋谷区	3						
池袋	3	0.33	0.67	3.67	0.67	0.67	2.00
荒川	1			1.00		1.00	
足立	1			1.00			
台東	5	2.60	0.20	6.60	5.60	0.60	1.00
大田区	3						
北区	1						
板橋区	2						
みなと	2	1.00		2.50	2.00	0.50	0.50
中野区	1						
新宿区	5	0.80		5.60	1.60	2.40	1.60
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1			1.00			
江東区	2			3.00			0.50
八王子	3	2.33		4.33	0.67	0.33	0.33
町田	1				2.00		
多摩立川	2	0.50		3.50	1.00	0.50	3.50
三鷹武蔵野	1			5.00	4.00	3.00	2.00

2次医療圏別累計表（2001年9月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	16	3	55	41	5	16	136
区南部				1		1	2
区西南部			5	1	1		7
区西部	4		51	12	13	24	104
区西北部	1	3	40	7	11	19	81
区東北部			14		3	6	23
区東部			36	11	6	33	86
西多摩							
南多摩	7		13	4	1	1	26
北多摩西部	1		10	2	2	26	41
北多摩南部			12	7	6	8	33
北多摩北部							
島しょ							
計	29	6	236	86	48	134	539

2次医療圏別累計表（2001年9月） 総計 定点当たり発生数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	1.45	0.27	5.00	3.73	0.45	1.45	11
区南部				0.25		0.25	4
区西南部			1.67	0.33	0.33		3
区西部	0.67		8.50	2.00	2.17	4.00	6
区西北部	0.17	0.50	6.67	1.17	1.83	3.17	6
区東北部			7.00		1.50	3.00	2
区東部			18.00	5.50	3.00	16.50	2
西多摩							0
南多摩	1.75		3.25	1.00	0.25	0.25	4
北多摩西部	0.50		5.00	1.00	1.00	13.00	2
北多摩南部			12.00	7.00	6.00	8.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.71	0.15	5.76	2.10	1.17	3.27	41

## 無菌性髄膜炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

無菌性髄膜炎は、主としてエコーウイルス(E)、コクサッキー B 群(CB)ウイルスなどのエンテロウイルスおよびムンプスウイルスの感染によって起こる。

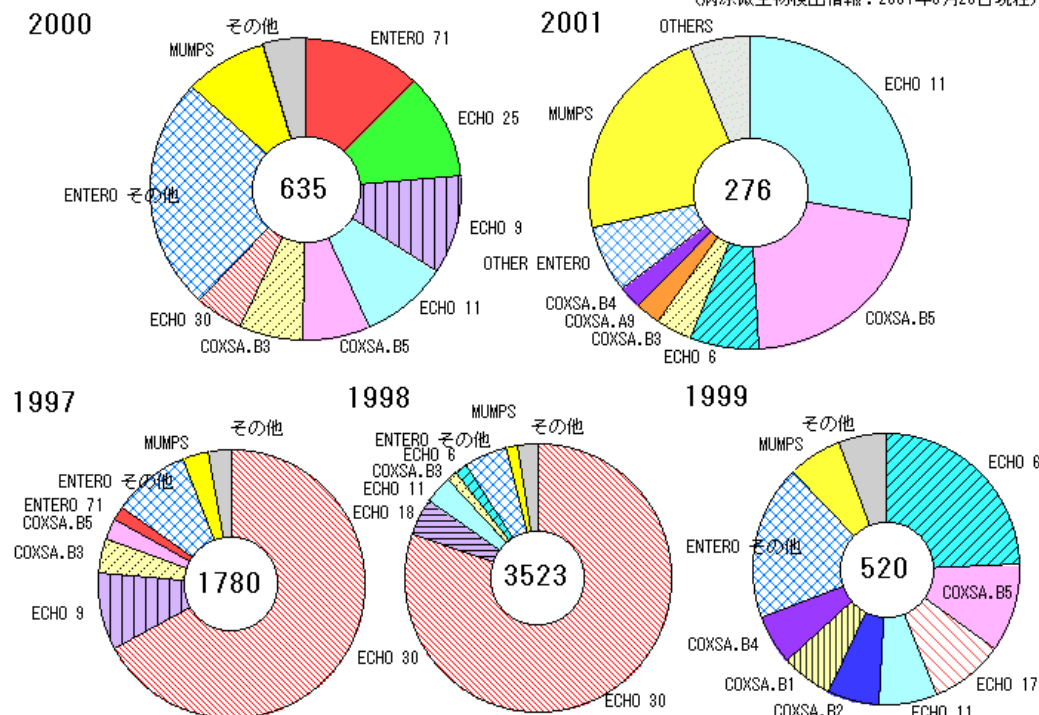
感染症発生動向調査において、全国約 3000 の小児科定点から報告されるムンプス（流行性耳下腺炎）患者数が、2000 年第 4 四半期以降 2001 年第 31 週現在も、過去 10 年の最高レベルを維持している。一方、全国約 500 の基幹病院定点から報告される無菌性髄膜炎患者数は、2001 年 5 月までは前年並みで推移しており、ムンプス患者数の増加を反映するような目立った増加は見られず、例年同様夏季に入り 6 月以降増加しているが、ピークの大きかった 2000 年を下回り、現在のところ 1999 年と同レベルで推移している。

2000 年 1～12 月に、地方衛生研究所が無菌性髄膜炎と診断された患者から分離したウイルスは 615 で、1999 年 520 を上回っているが、E30 が流行した 1997 年 1780、1998 年 3523 に比べれば少数に留まっている。型別の報告数が多いのはエンテロウイルス(EV)71 が 76、E25 が 72、E9 が 67、E11 が 59、ムンプスウイルスが 55 などである(2001 年 7 月 24 日現在報告数)。EV71 は 2000 年に総数では 485 分離され、これは 1982 年以来最も多く、死亡例を含む急性脳炎患者 7 例からの分離も報告されている。

2001 年 1～7 月の無菌性髄膜炎患者からのウイルス分離状況をみると、年初からムンプスウイルスが各地で分離され、5 月以降 E11 が北九州市で、7 月以降 CB5 が奈良県で分離されている。

(文責・山下和予)

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス、1997～2001年  
(病原微生物検出情報：2001年9月26日現在)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance and Report